

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2091000063		
法人名	サングリーン株式会社		
事業所名	認知症グループホームたのしや駒ヶ根		
所在地	長野県駒ヶ根市赤穂4492-1		
自己評価作成日	令和6年9月15日	評価結果市町村受理日	令和 6年 11月 5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouyuu_detail_2015_022_kanistrue&JiyosyoCd=2091000063-00&PrefCd=20&VersionCd=02
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和6年9月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

民家や小さな事業所が立ち並ぶ住宅街の一角にあり、近くには桜ヶ丘保育園や警察署があります。建物は太陽光を利用した給湯システムを取り入れたエコ住宅で、感染対策の次亜塩素酸水生成器は壊れて使えなくなりましたが、油断する事なく、アルコールを使って感染予防や衛生管理に努めています。またコロナ禍により、中止していた行事は徐々に復活しています。保育園の子供達との交流やボランティアによる音楽療法、介護サービスマン専門員の受け入れ等です。まだまだコロナが無くなった訳ではないので、感染対策をとりつつ、感染検査キットで事前に検査を必須にして面会を許可したり、また外出支援は家族責任にして頂いて希望者には許可しています。施設内で散歩希望の方には、職員が付き添って実施しています。開所14年目になりました。利用者の平均年齢も上がり、18名中10名は90歳以上(うち5名95歳以上)、6名は車いす使用、また9名はリフト浴を使用しないと入浴も難しいです。一人あたりの介護依存度が上がり、職員負担は当然増えているので、嘱託医による定期往診に移行し、一ヶ所の薬局に全員分の薬を管理してもらおう等医療の相談窓口を一本化し、また施設内看護士だけでは負担も大きいので、訪問看護センターと契約をして、毎週火曜日に定期訪問をして利用者の把握をしてもらい、不安時に相談、緊急時に訪問してもらっています。近くに訪問歯科もあるので、口腔内の心配がある時にはすぐに連携とれる体制にあります。中には在宅訪問歯科指導を受けている方もいます。そうする事で、職員はもちろん家族にも安心して貰える施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

中央アルプスの山々を望み、閑静な住宅街に囲まれた環境の中に開設14年目を迎えた当ホームがある。利用者の平均年齢90.2歳と高齢化が進む中、アットホームな雰囲気と大切に「その人を中心においたケアをモットーに」の理念の下、利用者により寄り添った日々の支援に取り組んでいる。コロナ禍の状況が長引き制約を受けながらの活動が続いて来たが、昨年5月の新型コロナ5類の移行後は、感染対策を取りながらコロナ前の生活に少しずつ戻す活動に取り組んでいる。中でも近隣の保育園との交流活動には特に力を入れて取り組んでいる。今年9月の敬老会には5年ぶりに招いた保育園児が日頃練習を重ねた「踊り」の披露があり、利用者とはとても喜んでた。また、秋には保育園の運動会へ招待して頂いており、施設長が出席し、利用者はホームのペランダで楽しむ予定である。目の前には保育園の畑があり、ペランダより園児が畑の世話をしている様子見たり、「さつま芋」等の収穫物の差し入れ時に歓談を楽しんでいる。更に、ボランティアの音楽療法士による3ヶ月に1回の来訪も再開され、模造紙に大きな字で書かれた昔懐かしい「昭和歌謡」をエレクoon演奏に合わせ、利用者はカスタネットやタンバリン等を持って手を動かしながら歌を歌って楽しい時を過ごしている。毎日の夕食前には日課として口腔ケア体操やDVDを見ながらゴボウ体操で体を動かして体力の維持にも努めている。季節に合わせた外出も再開され、春には飯島町の道の駅周辺まで桜のお花見に出掛けた。秋には「昔の台」までドライブを兼ねた紅葉見物を計画している。コロナ禍も落ち着きつつある中、全職員が気持ちを一つにして利用者を楽しい日々を送って頂きたいと言う思いを持って日々の支援に取り組んでいる様子が窺える施設である。

お

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○		